青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会
兼 第25回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会
ソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和8（2026）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は監督1名、コーチ2名以内および選手15名以内(男女は問わない。)とする。
- (2) 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督およびコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、青森県チームを除くトーナメント方式とする。また、トーナメント戦以外に青森県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合は5回制とする。試合開始後80分を経過した後は、新しい回に入らない。
※開催状況によっては、「試合開始後80分」を緩和することができる。
- (3) 同点の場合はタイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は2回を限度とし、延長開始後15分を経過した後は、新しい回には入らない。それでも同点の場合は、最終出場選手（DP制を採用した場合はFP選手を除く。）9名の抽選によって勝敗を決定する（決勝戦を除く）。
- (4) 抽選は主管競技団体が行う方法に沿うこととし、監督会議にて実施方法を確認する。
- (5) 3回終了以降10点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。
- (6) ファーストピッチにより行う。
- (7) 本塁から外野フェンスまでは61m、塁間距離は18.29m、投球距離は13.11mとする。
- (8) パスボール、振り逃げ、スクイズバントおよび盗塁は適用しない。
- (9) 不正投球が行われたときは、審判により注意（指導）を行う。2度目以降は、不正投球として処理する。
- (10) ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデットとし、キャッチャーからのけん制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (11) ボールデット後のプレー再開の判断は、捕手が投手に返球し、セットを始めたときとする。その時点で走者が帰塁していない場合は、遅延行為とする。走塁に関わる遅延行為があった場合は、審判により注意（指導）を行う。2度目以降は該当者をアウトとする。

- (12) 指名選手 (DP) および再出場 (リエントリー) を採用する。
- (13) 選手の応急手当が必要な場合や強風雨・落雷時、および給水タイムを実施した場合は、時間計測は行わない。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチおよび選手、同色・同意匠ユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは31番と32番、主将は10番とし、他の選手は1番から99番の番号とする。また、ユニフォームの左袖 (左肩から10cm程度) に都道府県・指定都市名を表示すること。
- (3) 打者・打者走者・走者、次打者および1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクターおよび膝当て付きレガースを着用する。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

5 試合球

試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製3号 (ナガセケンコー) とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和8(2026)年2月(予定)に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は5部作成し、試合開始時刻30分前または前試合3回終了時に、主将が競技会場の競技本部へ提出する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、コインのトスによって決定する。コインの表裏の選択権は、先着の主将に優先権を与える。両チーム同時の場合は、球審の任意の判断とする。

8 表彰式

表彰式は競技終了後に、競技会場で行う。

9 出場権

この大会の優勝チームは、第25回全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

10 その他

- (1) 監督会議は当日現地で行う。なお、監督会議の時間および場所については別途通知する。
- (2) 監督会議では予め主催者と協議した事項について、大会申し合わせ事項を設けること

ができる。

- (3) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1 塁側とする。
- (4) ベンチ内へは、監督、コーチ、選手以外は入ることができない。ただし、監督・コーチの3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (5) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (6) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (7) 練習球は各チームが用意する。
- (8) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。